

また、船橋市役所からの委託を受けて、月2回建築住宅相談会を船橋フェイスにて開催し、船橋市空家等対策協議会には委員を派遣しています。さらには、独自の勉強会として弁護士会京葉支部と共同で勉強会を開催しています。これは、民法や建築基準法をお互いに勉強し合おうという目的で継続的に開催することとしています。

見学会は、年に1回以上を目標に建物見学等を企画して開催しています。

今までに、①西洋美術館・岩崎邸・奏楽堂の見学会や②ららアリーナの見学会を行い好評を得ています。特に、先月開催したららアリーナ(千葉ジェッツふなばしのホームアリーナ)見学会は、事業主の(株)ミクシ様と千葉ジェッツふなばし(株)様や支部の賛助会員の方々にもご参加いただき、

見学会後の懇親会では和気あいあいの中、活発な意見交換、交流ができました。今後も定例支部会や船橋市との連携はもとより、このような勉強会、見学会を継続的に開催し知識向上や多岐にわたる人脈形成の機会を設けていきたいと考えています。



ららアリーナ見学会

東総支部

支部長 建築計画 林 清次



東総支部は、銚子市、旭市、匝瑳市、東庄町の3市1町で構成されており、九十九里浜の最東端の地域です。東日本大震災では、甚大な被害を受けた地域ですが、震災で得られた教訓を生かして前に進もうと、かえって震災以前より様々なイベントの開催等、官民一体となって、被災前より活性化している状況です。今後も被災地の支部として何がができるかを考えていければと思います。

支部の具体的な活動としては、コロナ下で積極的な活動も出来なかったのですが、建築士事務所キャンペーン事業の「わが家の耐震相談会」1回/



わが家の耐震相談会(匝瑳市 市民ふれあいセンター)

年(今回の相談者5名)、及び旭市の「無料住宅

相談会」5回/年(今回の相談者延べ2名)は継続して行っておりますが、双方共に都市部と比較して圧倒的に少ない相談者の人数かと思っておりますので、広報等での掲載方法等、広く周知していただくことを工夫して市町村や市民に働きかけてゆく必要があるかと考えております。

現在の支部の会員数は13名と、以前と比較して減少を辿っており、支部及び協会をより活性化させてゆく為には、まずは支部の会員数の増員かと思っておりますので、それを心がけて支部会員全体で活動を行って行きたいと思っております。



東日本大震災後嵩上げされた旭市の防波堤(旭市中谷里海岸)